

Guetre

対象年齢 6～24ヶ月まで

取扱説明書

ヨーロッパ安全基準 EN1930:2011 準拠

取り付け幅：約 140cm
 ゲートの高さ：約 88cm



ネジ
 取り付けは
 ネジ留めです

OK
 階段上
 でも使えます

足もとスツキリ バリアフリー

保証書裏面添付

- 安全上のご注意 2
- 使用上のご注意 3
- 設置場所について 4
- セット内容と各部のなまえ 5

お使いになる前に

- 取り付け場所の決定 6
- フックを取り付ける 8
- 本体をフックに取り付ける 9
- 本体をフックから取り外す 9

取り付け方

- ゲートの引き出し方 10
- ゲートの巻き戻し方 10

使い方

- お手入れ方法 10
- 保証書 11

ご使用後の手引き

本製品は、ネジを使用して設置しますので、設置面にネジ痕が残ります。あらかじめご了承下さい。
 本製品を取り付ける際は、必ずキリなどで下穴をあけてからネジ留めを行って下さい。
 また、電動工具での取り付けはネジの締め過ぎにより製品が破損するおそれがありますので、ご使用はお控え下さい。

このたびはセーフティゲート Guetre ゲートルをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解して組み立て、設置して下さい。

お読みになったあとも、手元におき大切に保管して下さい。

Neb:o

輸入販売元 株式会社中塚小児車工業所

〒670-0043 兵庫県姫路市小姓町 92

お問い合わせ TEL 079-298-2279 FAX 079-292-6026

受付時間 10:00～12:00 13:00～16:00

(祝祭日を除く 月～金曜日)

安全上のご注意

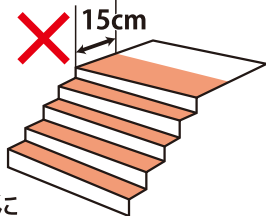
必ずお読み下さい

安全に使用していただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、確実に設置・取り付けてご使用下さい。

⚠ 危険

取り扱いを誤った場合、**死亡や重傷などを負う危険が切迫**する内容です。

- ⚠ ゲートを階段や段差の降り口から 15cm 以内の場所と、階段の途中には絶対に設置しないで下さい。開閉の度に、ロックが確実にかかっているかを必ず確認して下さい。



誤ってロールネットが開いた場合、降り口のすぐ近くに設置していると、階段や段差の上から転げ落ちる原因となり大変危険です。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合、**死亡や重傷などを負う可能性が想定**される内容です。

- ⚠ ゲートを完全に固定できない場所には設置しないで下さい。誤った設置を行うと危険につながることがあります。
- ⚠ ゲートが適切に閉まることを確認して下さい。上下のフックが開閉側キャッチ部分に引っかかっていないと危険です。
- ⚠ ゲートの構成部品が一部でも損傷している場合や見当たらない場合、ゲートを使用しないで下さい。ゲートが倒れたり、ロールネットが完全に閉まらないなど重大な事故の原因となります。
- ⚠ ゲートを階段の下の方に取り付ける場合、一番下の段の正面に取り付けて下さい。安全性を失います。
- ⚠ ゲートは窓には絶対に取り付けしないで下さい。窓の開口部用につくられたものではありません。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合、**死亡や重傷などを負う可能性が想定**される内容です。

- ⚠ 家庭内でのみ使用して下さい。保護者のもとお子さまの安全を守るための仮設ゲートです。
- ⚠ 月齢 24 か月以下のお子様を対象としています。24 ヶ月を過ぎたら取り外して下さい。対象年齢に満たない乳児や、対象年齢を超えた幼児に使用すると、お子さまの思わぬ動きなどで重大な事故につながるおそれがあります。
- ⚠ お子さまがゲートによじ登ったり、フックを外せるようになったらゲートの使用を止めて下さい。対象年齢内のお子さまでも、成長の度合いによって危険になる場合があります。保護者の判断で、使用を中止して下さい。
- ⚠ ゲートを鋭利なものや固いもので傷つけないで下さい。また、ペット用には使用できません。破れると危険です。
- ⚠ ゲートに寄りかかったり、ぶらさがったりしないで下さい。破損の原因となり、重大な事故につながるおそれがあります。
- ⚠ 定期的に取り付け部にゆるみやガタツキがないか必ず安全点検を行なって下さい。使用中にネジがゆるんでくる場合があります。事故の原因となります。

使用上のご注意

必ずお読み下さい

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合、**障害を負う、または物的損害が発生することが想定**される内容です。

- ◆本製品の組み立て、取り付け及び開閉の操作は、必ず保護者の方が正しく行なって下さい。
- ◆必ずご家庭で保護者のもとでご使用下さい。
- ◆本製品を取り付けた後も、お子さまの安全には十分ご注意ください。
- ◆ゲートの開閉の際は、近くにお子さまがいない事を必ず確認して下さい。
- ◆本製品は、凹凸が無い垂直な壁面に設置できない場合は、絶対に取り付けしないで下さい。
- ◆窓の開閉の代わりには使用できません。
- ◆本製品の取り付けにより、壁や壁紙などが破損する場合があります。
- ◆開梱した後は直ちに梱包箱や袋をお子さまの手の届かない所に保管、または破棄して下さい。
- ◆小さな部品はお子さまの手の届かない所に保管して下さい。
- ◆その他の注意事項や警告事項は、必ず本取扱説明書の指示に従って正しくご使用下さい。
- ◆火気や熱源の近くや、雨ざらしになるような場所に取り付けしないで下さい。
- ◆本製品を改造や部品の追加は行わないで下さい。

設置場所について

取り付けを始める前に、「設置禁止場所」と「取り付けできる場所」をよく確認のうえ、適切に設置し、正しく安全にご使用下さい。

窓のサッシへの取り付け

窓の開口部用につくられたものではありません。

家具や建具への取り付け

完全に固定できない物を利用しての取り付けはできません。

コンロ・暖房器具、火気の近く、屋外

耐火性や、防じん/防水機能はありません。

取り付けできる場所

間口が約 140cm までの場所で、凹凸がない垂直の壁面

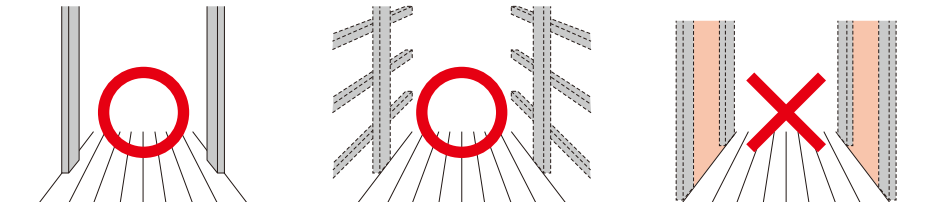
ネジで固定できる丈夫な壁や柱

注意 丈夫でない箇所に取付けると、壁面や柱が破損するおそれがあります。

柱

壁の棧のある所

壁の棧のない所



※壁面に隠れた棧の確認は、市販の棧探知機をお使い頂くか、お近くの工務店にご相談下さい。

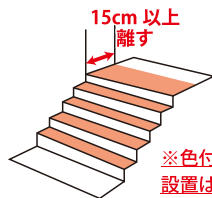
階段口の内側、または階段口脇の壁

階段
上部

一番上の段の端から 15cm 以上離れた所に取付けて下さい。ゆとりがある場合は、端からより離して取付けて下さい。

階段
下部

必ず、一番下の段の正面に取り付けて下さい。



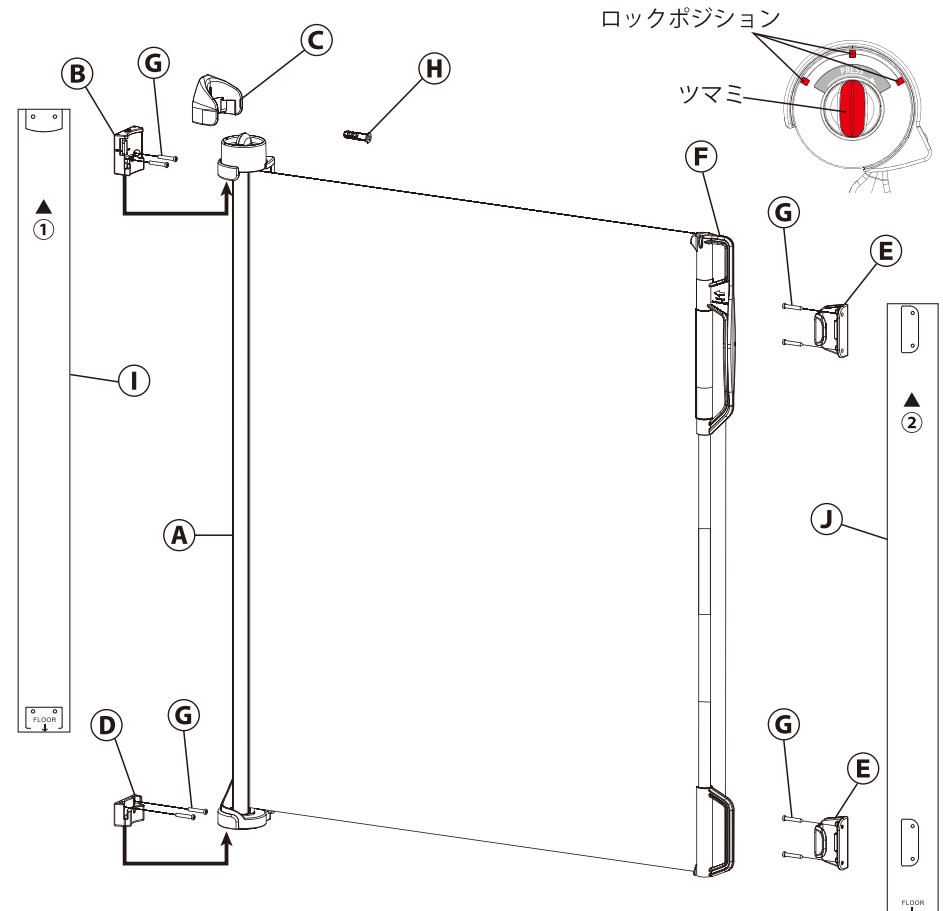
※色付け部分には設置は出来ません

固定側の底部が必ず床につくように取り付けて下さい

セット内容と各部のなまえ

本製品を組立てる前に、部品が全て揃っているかご確認下さい。

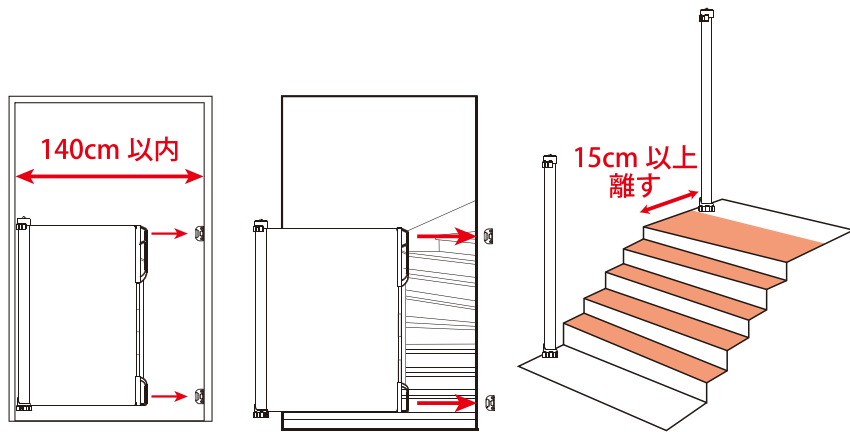
No.	部品名	入数
(A)	ロールネット	1
(B)	本体用上フック	2
(C)	上部カバー	1
(D)	本体用下フック	2
(E)	開閉側フック	4
(F)	ロックキャッチ	1
(G)	ネジ	16
(H)	コンクリート/レンガ壁/石膏用めねじ(必要な方のみ使用)	16
(I)	型紙(フック位置目印付け用: 本体側用)	1
(J)	型紙(フック位置目印付け用: 開閉側用)	1



取り付け場所の決定

ゲートは、開口部・階段口の内側または開口部・階段口脇の壁のいずれにも取り付けすることができます。

- ① 取り付け開口部が 140cm 以内であることを確認して下さい。
- ② 取り付け場所を決め、右開きか、左開きかを決めて下さい。

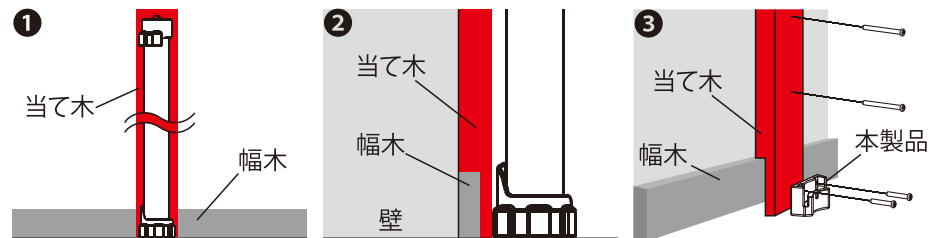


危険

階段上部に取り付ける場合は必ず、一番上の段の端から 15cm 以上のところに付けて下さい。ゆとりがある場合は、端からより離して取り付けして下さい。階段下部に取り付ける場合は必ず、一番下の段の正面のところに付けて下さい。

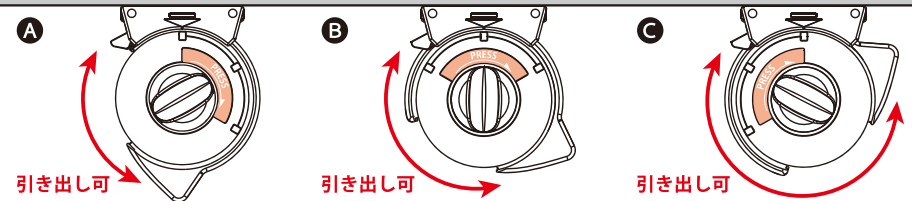
取付け位置に幅木がある場合

- ① 本体と同じか大きめで、幅木より少し分厚い当て木をご用意下さい。
- ② 幅木に合わせて当て木をカットします。
- ③ 当て木に本製品のフックを取り付け、取り付けた当て木をネジなどで壁に固定して下さい。



- ③ ゲートを設置する場所により、本体を取り付けるロックポジションを決めます。3カ所のロックポジションから一番引き出しやすい位置に設定して下さい。

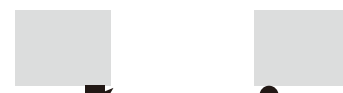
引き出し可能範囲



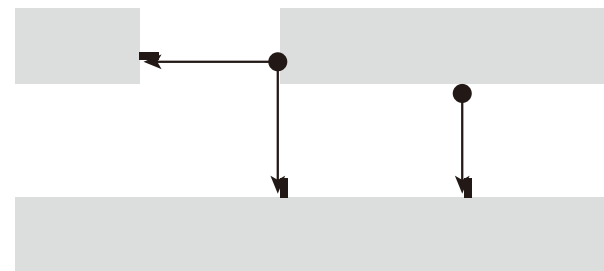
取付け一例

●…本体 ■…開閉側フック □…壁

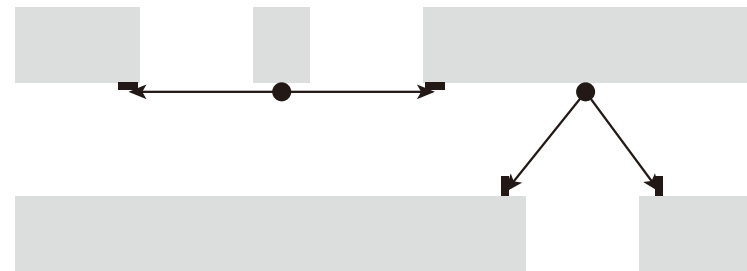
A



B



C



お使いになる前に

取り付け方

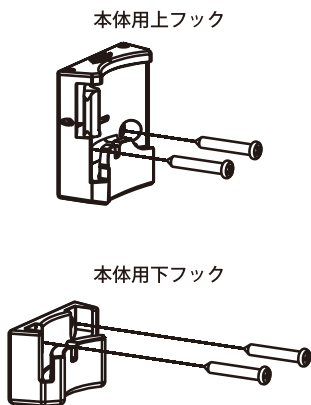
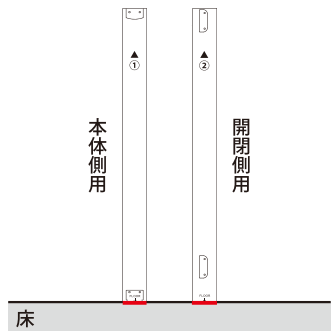
使い方

ご使用後の手引き

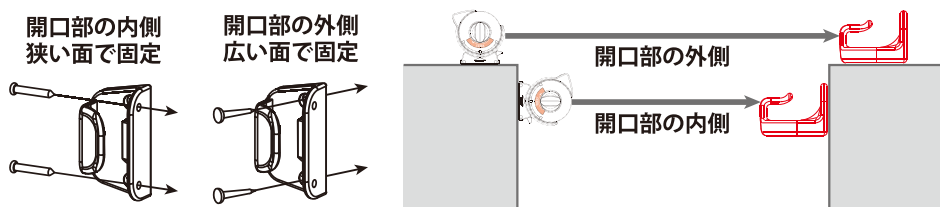
フックを取り付ける

本製品を組立てる前に、部品が全て揃っているかご確認ください。

- ① 本体用フックと開閉側フックを取り付ける際は、フック位置目印付用型紙を使用して下さい。型紙を点線にそって切り取り、**取り付け場所の床と型紙の接地面をぴったり合わせ**、ネジ穴の目印を付けます。
- ② 本体用上フック・本体用下フックをそれぞれ2カ所ネジで取り付けます。



- ③ 開閉側フックを取り付けます。取り付け面は、取り付け場所により変わります。開閉側フックを開口部の内側に取り付ける場合は、フックの狭い方の面を固定して下さい。開口部の外側に取り付ける場合は、フックの広い方の面を固定して下さい。



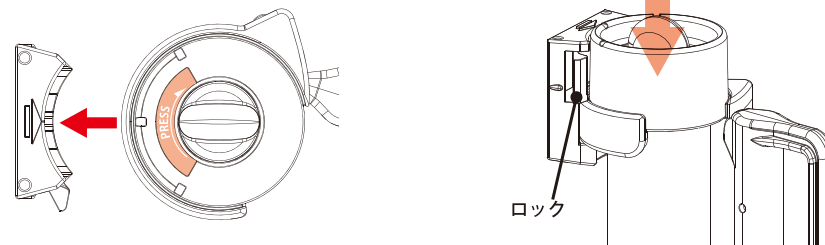
⚠ 重要

固定する面がコンクリート／レンガ／石膏の場合、必ず付属の「コンクリート／レンガ壁／石膏用めねじ」をご使用の上、ネジで固定して下さい。

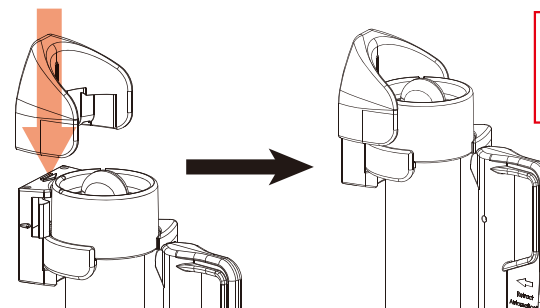
あらかじめ、目印を付けた場所にドリルドライバーやキリ等で下穴をあけ、「コンクリート／レンガ壁／石膏用めねじ」を差し込んでから、ネジ止めを行って下さい。

本体をフックに取り付ける

- ① ロールネット上のマークを本体用上フックに表示された矢印に合わせます。
- ② ゲートを所定の位置に留め、カチッと音を確認します。



- ③ 上部カバーを本体用上フックに取り付けます。



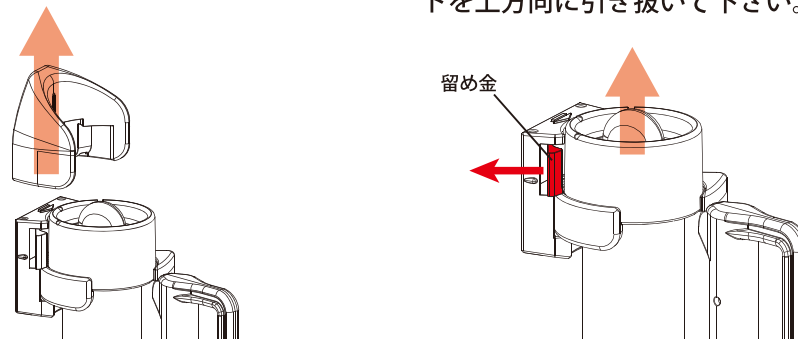
上部カバーを取り付けることによりゲート本体が固定され、ロックがかかります。

⚠ 重要

ゲートが確実に上下のフックに取り付けられ外れないことを確認して下さい。

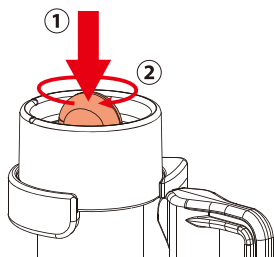
本体をフックから取り外す

- ① ゲートを外す時は、最初に本体用上フックから上部カバーを外して下さい。
- ② ゲートを本体用上フックから解除する時は、留め金を壁方向に押し、ゲートを上方向に引き抜いて下さい。

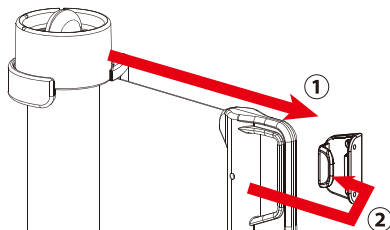


ゲートの引き出し方

- ①ツマミを押しながら ① 右に回す ②とゲートのロックが解除されます。
- ※ツマミから手を離してもロックは解除されています。



- ②ゲートを引き出し ①、上下のロックキャッチをしっかりと開閉側フックに引っ掛けて下さい ②。また、大きなタワミが無いことを確認して下さい。ゲートは自動的に閉状態でロックがかかります。

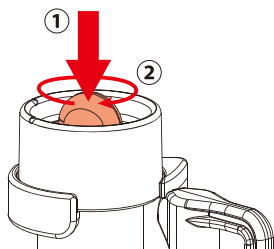


注意

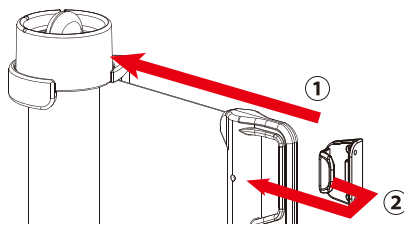
開閉側フックにしっかりと引っ掛かっているか確認して下さい。

ゲートの巻き戻し方

- ①ツマミを押しながら ① 右に回す ②とゲートのロックが解除されます。



- ②ゲートのフックを外し、ゲートを巻き戻します。この時、巻き戻っていることのお知らせするため音がします。



重要

ゲートを巻き戻す際にする音は、意図せずして巻き戻ってしまった事のお知らせするためのものです。※ツマミを押し回しながら戻すと音はしません。

お手入れ方法

- ◆定期的にご使用になる前に、取り付け部にゆるみがないか、ゲートにガタツキ等がないか、必ず安全点検を行って下さい。
- ◆ゲート本体や部分が破損したら、ただちに使用を中止して下さい。
- ◆表面を中性洗剤とぬるまゆに浸した布またはスポンジで拭いて下さい。研磨剤入り、アンモニアベースのもの、漂白剤入り、またはアルコールタイプのクリーナーは絶対に使用しないで下さい。
- ◆廃棄の際は、お住まいの自治体の指示に従って処分・廃棄して下さい。